

# 地球環境との共存共栄

あらゆる環境問題に誠実に向き合い、地球環境の再生を目指す

## TCFDへの賛同



ムサシグループは、気候変動への対応をサステナビリティ経営の重要な課題と捉えています。

企業活動は勿論のこと、製品、サービスを通じて気候変動への対応を行い「人と環境が“調和”した豊かな地球社会の実現に貢献」します。

また、更なるステークホルダーとのコミュニケーションを図るため、

当社は、2021年8月に気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言へ賛同を表明しました。

今後も、統合報告書やホームページなどを通じ、開示情報の拡充につとめていきます。

### ガバナンス強化

当社は気候変動への取組みを経営に反映すべく、コーポレートガバナンス体制の強化を行いました。組織における役割責任を明確にすることで、国内外グループ・関係領域は目標達成にむけた施策展開を責任をもって実行すると同時に、経営はその状況を監督します。 **P42**

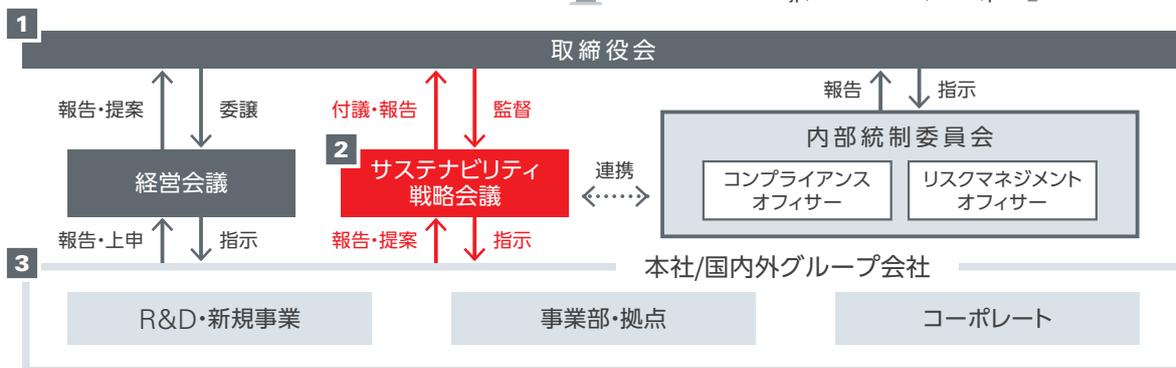
### グリーンオペレーション100

2038年<sup>※1</sup> 事業活動<sup>※2</sup>でのカーボンニュートラル100%

当社はこれまでも環境問題に対し、省エネ活動を始めとする様々な取り組みを実施してきました。世界的コンセンサスである「カーボンニュートラルの実現」にむけ、地球社会の一員として新たな覚悟で私たちは動き出します。2050年バリューチェーン全体のカーボンニュートラルの実現にむけ、2038年までに私たち自身の活動をグローバル全体でグリーンにすることを約束します。

※1 当社100周年  
※2 Scope1&Scope2

ムサシカーボンニュートラル宣言の詳細は当社ホームページをご覧ください。  
[www.musashi.co.jp/newsrelease/news/post\\_51.html](http://www.musashi.co.jp/newsrelease/news/post_51.html)



#### 1 取締役会

会社の取組み(方針・戦略)に対する意思決定を行う。

#### 2 サステナビリティ戦略会議

取締役会で決議された方針・戦略を受け、サステナビリティの実現にむけた方向性や目標・指標を審議し決定する。社会課題や経営的リスク・ガバナンスのみならず、中長期的な企業価値向上の観点を加え、各領域、国内外グループ会社へ課題解決にむけた実行を指示する。

| 議長      | メンバー          | 開催頻度  |
|---------|---------------|-------|
| 最高経営責任者 | 取締役・CxO+外部有識者 | 年2回以上 |

#### 3 実行領域

(本社/国内外グループ会社)

目標達成にむけたPDCAサイクルを責任をもって実行し、実行状況を経営側へ報告する。

### 環境方針

当社は地球環境問題に対し、社会の一員として全ての事業活動を通じて、Purposeを実現し、地球社会に貢献する為の基本的な考え方や取組み姿勢を「環境方針」として定めています。

詳細は当社ホームページをご覧ください。  
[www.musashi.co.jp/sustainability/earth.html](http://www.musashi.co.jp/sustainability/earth.html)